

令和5年産

（品種：夢つくし・元気つくし
ヒノヒカリ・ヒヨクモチ）

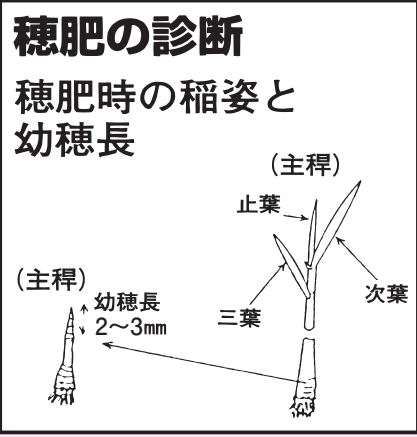


ふくおか嘉穂米稲作ごよみ

JAふくおか嘉穂本所営農センター ☎24-7093
飯塚普及指導センター ☎23-4154

山ろく・中山間地	月	5月			6月			7月			8月			9月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
	夢つくし	浅水			間断灌水			中干し	間断灌水			浅水	間断灌水			落水	
基肥		代かき	箱施薬①	田植 5/15 5/30	除草剤②				穂肥	穂いもち病 防除時期③			出穂	ウツカ・カメムシ防除④ (状況に応じて回数散布)	収穫		

	月	6月			7月			8月			9月			10月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
平坦地	夢つくし	浅水		間断灌水		中干し		間断灌水		浅水		間断灌水		落水		収穫	・穂肥は葉色をみて量を加減する。 ・穂肥は出穂前（幼穂長2～3mm）頃使用する。
	基肥 代かき 箱施薬① 田植 6/5 ~ 6/15 除草剤②	穂肥						出穂 防除時期③ 穂いもち病 ウツカ・カメムシ防除④ 状況に応じて回数散布									
平坦地	元気つくし	浅水		間断灌水		中干し		間断灌水		浅水		間断灌水		落水		収穫	穂肥の診断 穂肥時の稲姿と幼穂長
	基肥 代かき 箱施薬① 田植 6/10 ~ 6/20 除草剤②	穂肥						出穂 防除時期③ 穂いもち病 ウツカ・カメムシ防除④ 状況に応じて回数散布									
地	ヒノヒカリ	浅水		間断灌水		中干し		間断灌水		浅水		間断灌水		落水		収穫	収穫適期 (黄褐色率70~80%) 収穫早限 黄褐色率70% 籾水分28% 収穫晚限 黄褐色率80% 籾水分24% ・適期収穫に努めましょう
	基肥 代かき 箱施薬① 田植 6/10 ~ 6/20 除草剤②	穂肥						出穂 防除時期③ 穂いもち病 ウツカ・カメムシ防除④ 状況に応じて回数散布									
地	ヒヨクモチ	浅水		間断灌水		中干し		間断灌水		浅水		間断灌水		落水		収穫	
	基肥 代かき 箱施薬① 田植 6/10 ~ 6/20 除草剤②	穂肥						出穂 防除時期③ 穂いもち病 ウツカ・カメムシ防除④ 状況に応じて回数散布									



収穫適期
(黄褐色率70～80%)
収穫早限
黄褐色率70%
粉水分28%
収穫晩限
黄褐色率80%
粉水分24%
・適期収穫に努めましょう

注）平坦地は標高50m以下、山ろく地は50～100m、中山間地は100～300mの地帯である。

主な雑草
及び
病虫害



○箱施薬① 次のいずれか1つを選択

名 称	使用量	使用時期	対象病害虫
防人箱粒剤	1箱あたり 50g	播種時 (覆土前) ↓ 移植当日	いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ
フルスロトル箱粒剤 ※紋枯病に効果あり			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、紋枯病
ブーンゼクテラ箱粒剤			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ

※育苗センターの苗（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ）は箱施剤（防人箱粒剤）入りです。
田植前に箱施薬を散布する必要はありません。

○除草剤使用基準②

種類	名 称	10a当たり使用量	使用時期
粒 剤 (※田植同時 処理可)	キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時～10日 (ノビエ3.0葉期まで)
	エンペラー1キロ粒剤		
	サラブレッドKAI1キロ粒剤		田植時～8日 (ノビエ2.5葉期まで)
	ラオウ1キロ粒剤		
フロアブル (※田植同時 処理可)	キマリテフロアブル	500ml	田植時～10日 (ノビエ3.0葉期まで)
	エンペラーフロアブル		
	サラブレッドKAIフロアブル		田植時～8日 (ノビエ2.5葉期まで)
	ラオウフロアブル		
ジャンボ	キマリテジャンボ	10バック	田植直後～10日 (ノビエ3.0葉期まで)
	エンペラージャンボ		
	サラブレッドKAIジャンボ		田植直後～8日 (ノビエ2.5葉期まで)
	ラオウジャンボ		

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

○穂いもち病防除③

名 称	10a当たり使用量	使用時期（収穫前）	対象病害虫
ノンプラスバリダ粉剤DL	3～4kg	14日前まで	いもち病、紋枯病
ダブルカットバリダフロアブル	希釈倍率1000倍 散布液量60～200ℓ	穂揃期まで	
ゴウケツ1キロ粒剤	1kg	出穂5日前まで	いもち病
ゴウケツバック	10バック	(収穫30日前まで)	

※穂いもち病防除時期：「ゴウケツ」は、穂ばらみ期（出穂5日前）まで「液剤・粉剤は出穂直前」に散布する事が重要です。

○ウンカ・カメムシ防除④

名 称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫	イネカメムシ対策
エクシード粉剤DL	3kg	収穫7日 前まで	カメムシ類 ウンカ類	新害虫イネカメムシの特徴は 出穂期後の幼い籾の基部を吸 汁し不稔粉発生の要因となり ます。その為、対策としては出 穂期に1回、出穂期後7～10 日に1回の2回防除が必要とな ります。
エクシードフロアブル	希釈倍率2000倍 散布液量60～150 ℓ			
スタークル豆つぶ	250g			
ヘリ防除（エクシードフロアブル）	希釈倍率16倍 散布液量0.8 ℓ			

○スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）対策

（生貝の捕殺・卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬の耕起等）

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) 対策	名 称	10a当たり使用量	使用時期	備 考
	スクミノン	1～4kg	移植後、但し 収穫60日前まで	水口、深いところ等タニシの 集まる所にスポット処理も有効

○補正防除

名 称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
ゴウケツモンスター 粒剤	3kg	出穂5日前まで (収穫45日前まで)	いもち病、紋枯病、 稲こじ病、ウンカ類
リンバー粒剤	3～4kg	収穫30日前まで	紋枯病
モンセレンフロアブル	希釈倍率1500倍 散布液量100～150ℓ	収穫21日前まで	紋枯病
トレボン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	ウンカ類対策 ※使用時期は発生に応じて散布 (稲作情報参考)
トレボン乳剤	希釈倍率1000～2000倍 散布液量60～150ℓ	収穫14日前まで	

○補正除草剤

名 称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
クリンチャーバスME液剤	1000ml/水70～100ℓ	ノビエ、広葉雑草 カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日～ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで
ワイドショット1キロ粒剤	1kg		田植後15日～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで
クリンチャーEW	100ml/水25～100ℓ		田植後20日～ノビエ6葉期 但し収穫30日前まで
クリンチャー1キロ粒剤	1kg	ノビエ	田植後7日～ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで
2・4-Dアミン塩	80～120g/水70～100ℓ	水田雑草 (イネ科を除く)	有効分分け終止期～幼穂形成期前 但し収穫60日前まで
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	500～700ml/水70～100ℓ	広葉雑草 カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日～55日 但し収穫50日前まで
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3～4kg		田植後15日～55日 但し収穫60日前まで
レプラスジャンボ	10バック	水田雑草及び広葉雑草	田植後14日～ノビエ4葉期まで 但し、収穫60日前まで

○施肥基準

地帯	品種名	肥料名	基肥	追肥	成分量		
					N	P	K
全 域	夢つくし	ベスト444	35	15	7.0	7.0	7.0
		ベスト444					
	元気つくし	ベスト444	40	15	8.6	5.6	8.0
		ワンショット追肥エムコート206					
	ヒノヒカリ	ベスト444	40	15	7.7	7.7	7.7
		ベスト444					
ヒヨクモチ	ベスト444	50	20	11.0	7.0	10.2	
	ワンショット追肥エムコート206						

※側条施肥田植機は、「ベスト444」を使う。施肥量は、上記基準より10a当たり5kg程度減らす。

○施肥基準（基肥一回全量施肥）

地帯	名称	肥料名	施肥体系	施肥量	(kg/10a)			※気象変動への対応や生育 に応じた調整ができない ので、倒伏や収量低下を 招くことがある。 ※この肥料は省力化のため に使用する。 ※施肥量が多くなりな いよう ※（ ）内は緩効性窒素の 溶出期間。
					N	P	K	
全 域	夢つくし	エムコート2000 (100日)	全層	35	7.0	3.5	3.5	
			側条	30	6.0	3.0	3.0	
		エムコート2220 (100日)	全層	30	6.6	3.6	3.0	
			側条	25	5.5	3.0	2.5	
	元気つくし	エムコート2000 (100日)	全層	40	8.0	4.0	4.0	
			側条	35	7.0	3.5	3.5	
		エムコート2220 (100日)	全層	35	7.7	4.2	3.5	
			側条	30	6.6	3.6	3.0	
	ヒノヒカリ	エムコート2000 (100日)	全層	40	8.0	4.0	4.0	
			側条	35	7.0	3.5	3.5	
全 域	ヒノヒカリ	エムコート2220 (100日)	全層	35	7.7	4.2	3.5	
			側条	30	6.6	3.6	3.0	
		エムコート44 (120日)	全層	45	9.9	5.4	4.5	
			側条	40	8.8	4.8	4.0	

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用(10a当たり、ケイカル・ミネラルG・珪鉄のいずれかを160kg散布、または、とれ太郎を60kg散布)

肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。

農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。

この栽培暦はJA米の生産基準を兼ねています。要件を満たさない米穀は区分してJAに出荷しましょう。

1. このごよみは、稲の生育や病害虫の発生状況により多少変わることがありますので、JA等の情報に注意して下さい。

2. なお、不明な点は、普及指導センター、JAへお尋ね下さい。

JAふくおか嘉穂本所グリーンセンター ☎24-4200 令和4年11月作成

JAふくおか嘉穂南部グリーンセンター ☎57-3915

肥料・農薬・生産資材の購入はJAから!!

生産履歴は必ず記帳しましょう。